総合計画／実施計画書
兼事務事業評価シート

事業期間　H20　～　H20

担当部局	部局名	教育委員会
	課室名	生涯学習課

１．基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）

基本施策ＩＤ	基本施策名
５ － １ － １	いつでも学べる場と機会をつくる

重点施策ＩＤ	重点施策名
－ － －	

２．事業名等

事業名	図書館システム整備事業	事業区分	①	①新規　②継続　③その他　（　　）
細事業名		実施形態	③	①毎年　②隔年　③その他　(H20年度)
事業主体	市		①	①直営　②指定管理　③委託 ④その他　（　　）
事業種別	①　①自治事務　②法定受託事務			
実施期間	平成　20 年度　～　平成　20 年度	根拠法規		
各種の計画への反映（＝根拠計画）	豊後大野市総合教育計画・豊後大野市社会教育計画	事業ＩＤ	27014	

３．事業の内容等

事業の背景

科学省から社会や制度の変化、図書館活動の意義の理解の促進、レファレンスサービスの充実利用と利用促進、課題解決支援機能の充実等新たな課題等に対して、これからの図書館運営に必要な新たな視点や方策等について提言がなされ、自治体において図書館の整備及びサービスの充実に努めるとともに、この提言を図書館の改革の指針として活用し図書館の発展に努めることが求められている。

補助事業			
名称	市町村合併推進体制整備費補助金		
補助率	国	県	その他
	1/	1/	1/

起債の種類	
①	
②	
③	

事業の目的及び対象

【目的】

中央図書館と緒方図書館は、合併前の異なる図書館システムでの運営を行っており、「豊後大野市図書館」として、同一・同質の利用サービスを提供し、運営水準・向上を図る必要がある。

【対象】

市民

事業概要

資料発注から登録、蔵書管理、利用統計、総務部門に係る事務の集約を図り、蔵書データの一括管理により所蔵構成を一元的に把握することができ、同時に「豊後大野市図書館」総体の所蔵構成や重複資料の把握を通じて、的確な資料発注や資料配置を行う。また、利用者カードを「1人1枚」とし、「豊後大野市図書館」としていずれの館でも利用できるようにする。

インターネット上に公開される蔵書目録により、図書館まで遠くの地域に居住している利用者も、ネット上の操作で簡便に図書館資料を活用できるようにする（Web公開）。

移動図書館の出先での即時予約対応を図る。

前年度の評価	評価結果に基づき見直した内容

４．予算・決算の状況

（単位：千円）

財源内訳		Ｈ 17	Ｈ 18	Ｈ 19	Ｈ 20	Ｈ 21	Ｈ 22	Ｈ 23～
予算	国庫支出金				19,694			
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源				13,072			
	計				32,766			
決算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源							
	計							

５．実績及び達成目標等

過去３年間の事業実績と課題

平成17年度	平成18年度	平成19年度	課題
【実績】	【実績】	【実績】	

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値

活動指標	システム整備	
効率指標	前年度決算額＞当該年度決算額 ⇒　平成21年度は、コスト評価（経済性、効率性、効果性）を実施する。	
成果指標	進捗率	単位 %

年度	Ｈ 17		Ｈ 18		Ｈ 19		Ｈ 20		Ｈ 21		Ｈ 22		備考
種別							進捗率						
目標値							100						
実績値													
達成率													
備考													